

① 感触あそび

寒天や氷、砂場遊びなど様々な素材に触れながら、感触を楽しみました。

環境設定

《テーマ設定》

感触遊びを好み、砂や水に集中して遊ぶ姿が見られました。色への興味も高まってきたため、より豊かな感触遊びができるよう砂と水と色をテーマに活動を行っていくことにしました。

・ 氷遊び

氷をプラスチックの容器や大きなたらいに入れ、自由に触ることができるようにしました。

・ 寒天遊び

赤・黄・青の寒天を用意しました。好きな色を選び、プラスチックの容器にいれました。スプーンも用意し、砕いたり掬ったりできるようにしました。

・ 砂場遊び

十分な量の砂を用意し、掘る・積む・埋めるなどの遊びができるようにしました。バケツ・シャベル・ふるい・型抜きなど多様な道具も用意しました。

子どもの姿

・ 氷遊びでは、指先で触ったり、手のひらにのせていました。容器の上を滑らし、氷が動く様子を楽しんでいました。



・ 寒天遊びでは、手で触って感触を楽しんだり、スプーンを使って、細かく砕いていました。赤・青・黄色の寒天を混ぜ合わせ、色の変化を楽しんでいました。



・ 砂を指先で摘んだり、手のひらで掴んでいました。シャベルで砂を掬い、バケツの中に入れ、ひっくり返したり、型抜きで形を作ることを楽しんでいました。また、砂を積み重ね、お山ができると、壊すことを楽しんでいました。保育者がお団子を作り渡すと、慎重に掴んでいました。落とすと割れることに驚いていました。



子どもの気付き

・ 氷遊び

溶けて、水になることに驚いていました。



つめたい！
つるつる！

あれ？なくな
った！（溶けた）



・ 寒天遊び

砕いたり、混ぜたりすると形や色が変わることに気付いていました。



ぷるぷる！

まぜまぜ！



・ 砂場遊び

お団子やお山が壊れ、形が変化することを楽しんでいました。お山に葉っぱをさしたり、木の実をのせ、ケーキに見立てていました。



《振り返り》・ 安心できる環境と保育者の見守りがあることで、子どもたちは自分のペースで挑戦を広げていくことができていました。

・ 感触を味わいながら笑顔を見せたり、声をだしたりする姿が見られました。感触遊びは、触覚だけでなく、情緒の安定や「楽しい！」という気持ちに繋がっていると感じました。

②クリスマスツリー 木の幹

厚紙の上で、絵の具・砂・水・ボンドを混ぜ合わせた感触を楽しみました。

環境設定

- ・厚紙
- ・砂
- ・水
- ・絵の具(茶・こげ茶)
- ・ボンド
- ・スポット
- ・筆

(素手で絵の具に触れることに抵抗がある子が使用できる為)

子どもの姿

- ・茶色とこげ茶色のどちらかを自分で選び、決めました。
- ・自分で絵の具やボンドを出したり、スポットで水をすくってみたりもしました。
- ・絵の具・ボンド・砂・水を出すと、「まぜまぜ～」と言いながら混ぜることを楽しんでいました。
- ・指先で確かめながら、触れる姿や手のひらでダイナミックに触れる姿も見られました。



子どもの気付き

- ・手に絵の具がついていることに気が付き、「みて!」と嬉しそうに見せていました。
- ・様々な材料が混ざり、固まっていく様子を見て「すごい!」と驚いていた。
- ・手で伸ばして広げることで、厚紙全体に色がつくことを喜んでいました。



《振り返り》 ・ 普段から遊びの中で、砂には、触れているため、抵抗なく触ることができていました。

・ 自分で絵の具やボンド、水をだしたり、砂を落としたりしたため、一人ひとり分量も違い、同じ材料でもそれぞれ個性が出ていると感じました。

③ フォトスタンド作り

キャンバスパネルの上で、絵の具・砂・水・ボンドを混ぜ合わせ、混ぜ合わさった感触や色・色の変化に触れ、楽しみました。

環境設定

- ・ 絵の具4色(赤・青・黄・白)
 - ・ キャンバスパネル
 - ・ 筆
- (素手で絵の具に触れることに抵抗がある子が使用できる為)
- ・ 水
 - ・ スポイト
 - ・ 砂
 - ・ ボンド

子どもの姿

・ パネルに自分で、好きな色、好きな数、好きな量だけ絵の具を出せるようにしました。絵の具を上重ねて出す子やパネルへ均等に出す子がいました。また、全色使って混色を楽しむ子や1、2色のみの子、好きな色を多めに出す子がいました。「青がいい!」「次はこの色!」と声に出したり、指をさしながら色の選択を行っていました。



・ パネルの上に砂を指先でつまんで入れる子や手のひら全体で掴み入れる子がいました。指先で、砂を混ぜる子や手のひら全体を使ってダイナミックに混ぜる子もいました。



子どもの気付き

・ パネルの上の絵の具に触れ、色が混ざり合うと、「色が変わった!!」と色の変化することに気が付いていました。手のひらについての絵の具の色が変わっていることにも気が付き、驚いていました。



・ 「ざらざらしてる!」「なんか音がするね!」と砂の感触や砂とパネルが擦れ合う音に気がついていました。



・ 完成したフォトスタンドを見て、「可愛い!」と目を輝かせていました!

《振り返り》

- ・ 周囲を気にせず、集中できる環境が、指先を使った動きや「やってみよう」とする意欲に繋がっていました。
- ・ 保育者がそばで見守り、必要に応じて、援助することで、子ども達自身が「自分でできた」と感じる経験に繋がっていました。
- ・ 一人ずつ行ったことで、子どもたちの表情や言葉を丁寧に受け取ることが出来ました。一人ひとりに合わせた関わりが素材への興味や表現の幅を広げることを実感しました。

④新しい砂場

コップやシャベルなどの道具を使って、砂場遊びを楽しみました。

環境設定

- ・砂
- ・砂場道具

子どもの姿

- ・砂場の道具を用いて、ごっこ遊びを楽しむ姿が見られました。
- ・コップに砂をいれ、飲み物に見立て、お友達同士で「かんぱい〜！」と楽しむ姿が見られました。



子どもの気付き

- ・平らなお皿に砂を高く積み上げ、シャベルや手で押すと固くなることに気が付いていました。
- ・冷水ポットに砂を入れ、コップに注ぐと、さらさら〜と、砂が落ちる様子に目を輝かせていました！



《振り返り》 ・砂場でのごっこ遊びを通して、お友達同士での関りも広がっていました。

・十分な広さの砂場や量、道具の豊富さで子どもたちが安心して砂場遊びに集中することができていました。